

第104回幹事会議事要旨

日時 平成22年9月16日(木) 13:30~16:25

場所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 金澤 一郎

(副会長) 鈴木興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、小林 良彰、木村 茂光

(第二部) 北島 政樹、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、永宮 正治

(事務局長) 竹林 義久

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、廣田 英樹、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

- 1 冒頭、事務局の人事異動(参事官(審議第二担当)及び参事官(国際業務担当))に伴う挨拶が行われた。
- 2 前回議事要旨等の確認が行われた。
- 3 諸報告事項として、金澤会長から、8月17日に行われた回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」の文部科学省への手交の報告、8月24日に「ホメオパシー」についての会長談話を発出した旨の報告、8月25日に行われた勧告「総合的な科学・技術政策の確立による科学・技術研究の持続的振興に向けて」の菅内閣総理大臣への手交の報告、9月4日~10日にオスロで開催された The Kavli Prize Week 2010 の報告、9月10日に「気候変動に関する政府間パネルのプロセス及び手続に関する検証」についての会長談話を発出した旨の報告等があった。
- 4 審議事項について審議が行われた。
 - (1) 若手アカデミー委員会における委員が決定された。
 - (2) 人間及び地球研究対応委員会における委員が決定された。
 - (3) 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員が決定された。
 - (4) 高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会の設置及び設置要綱が決定された。
 - (5) 日本学術会議協力学術研究団体の指定が承認された。
 - (6) 学術刊行物の指定が承認された。
 - (7) 国際科学会議拡大役員会・地域オフィス代表・地域委員長会合、国際科学会議財務委員会及び国際科学会議第103回理事会出席に係る会員の派遣が承認された。
 - (8) 18件のシンポジウム等の主催、6件の国内会議及び2件の国際会議の後援について承認された。
 - (9) その他事項として、次のことについて話し合われた。
 - ・平成23年度予算概算要求について、事務局長から審議経費等を10%削減して要求せざるを得なくなった事情の説明があり、それに関連して、唐木副会長から、国際学術団体への新規加入に伴う分担金の要求は断念せざるを得なくな

った旨の発言があった。

- ・ 総会日程について会長から説明があった。
- ・ 総会期間中の幹事会については、10月4日(月)16時より開催することとし、10月5日開催予定の幹事会は、案件があれば行うこととなった。

5 非公開審議事項について審議が行われた。

- (1) 総会で承認を得るための補欠の会員候補者及びその所属部の提案が承認された。
- (2) 辞職の申出があった連携会員の辞職を会長が承認することについて同意した。
- (3) 若手アカデミー委員会における分科会委員(特任連携会員)が決定された。
なお、特任連携会員の推薦理由について再提出することとなった。
- (4) 人間及び地球研究対応委員会における委員(特任連携会員)が決定された。
- (5) 自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会における小委員会委員が決定された。
- (6) 総会で報告する年次報告書、委員会等の審議経過、選考委員会からの報告「平成23年10月の会員及び連携会員の改選に向けて」等について報告があり、幹事会での意見等を踏まえた資料の修正等を行った上で、総会に報告することとなった。
- (7) 平成23年春の総会は、4月4日(月)～6日(水)に開催することになった。